

事務連絡
平成25年12月27日

剣道部顧問 様

下記の件につき、宜しくお願い致します。申込書はダウンロードしてから手書きでご記入下さい。

1, 称号審査会・八段受審者講習会について

- ・申込書に審査料を添え1/31(金)迄に書留にて申し込み下さい。
- ・称号受審にあたっては、1年以内に講習会を2回受講していること。剣道手帳の講習会等の欄のコピーも添えて下さい。
- ・称号審査会は、今回より内容が変更になってますのでご注意ください。特に、小論文を当日までに書き上げて提出することになります。

2, 剣道授業協力者養成講習会について

- ・受講希望者は、申込書に記入の上、2/7(金)迄にFAXにて申し込み下さい。

問い合わせ・申込先：埼玉県剣道連盟高校剣道連盟事務局
埼玉県立大宮東高等学校内
津坂 宗秀

〒337-0021

さいたま市見沼区膝子567

TEL 048-683-0995

FAX 048-680-1900

埼 剣 連 第 285 号
平成 25 年 12 月 24 日

加 盟 団 体 会 長 様

公益財団法人 埼玉県剣道連盟
会 長 野 澤 治 雄

剣道・居合道・杖道 称号審査並びに
居合道・杖道六・七・八段及び剣道八段受審者講習会について

このことについて、下記のとおり実施いたします。
つきましては、該当者に受審（受講）資格等を周知徹底の上、申込個表で申し込んでください。

記

1. 錬士号及び教士号の埼玉県審査

- (1) 日 時 平成 26 年 2 月 23 日（日）午前 9 時 10 分受付開始
午前 9 時 40 分受付終了
午前 10 時開始
- (2) 会 場 埼玉県立武道館 主道場 剣道・杖道
第二道場 居合道
- (3) 受審資格
 - ①錬士号：六段受有後 1 年以上を経過（平成 25 年 5 月 31 日以前に取得）した者
 - ②教士号：七段受有後 2 年以上を経過（平成 24 年 5 月 31 日以前に取得）した者
 - ③ 1 年以内に埼剣連派遣講師の講習会を 2 回受講していること
（剣道手帳の写しを添付）
- (4) 審査内容
 - ①剣 道：日本剣道形・審判法・指導法等の知識、実技について能力の認定を行う。
 - ②居合道：実技、審判法を行う。
 - ③杖 道：指定 6 本、仕と打ちを交代して行う。
 - ①～③は、指導法等として「小論文」を当日受付に提出する。但し、全剣連 社会体育指導員、中級、上級認定者は免除する。

剣道 居合道 杖道 審査会申込書

加盟団体No		加盟団体名		申込日 平成 25年 月 日											
38		高 校													
受審項目を○で 囲んでください				審査会場				審査日時				1日目 2日目			
初	二	三	四	五	六	七	八	錬士	教士	再審		実技合格月日			
										形	学科				
全剣連番号				現段級位受領年月日				現段位登録申請県名				錬士受領年月日			
				昭 平 年 月 日											
氏 名				旧 姓		性別	生 年 月 日				年 齢				
刀がナ						男	大								
氏名						女	昭 年 月 日				平				
〒		住 所						電 話 番 号							

職業番号を○で囲んでください

1 中学生	2 高校生・大学生・専門学校等	3 警察官	4 自衛官
5 教 員	6 公務員	7 会社員	8 自営業
9 農林水産業	10 主 婦	11 その他	12 無 職
学校名		学年	下部団体名

学校名、学年欄は中学生・高校生・大学生・専門学校生のみ記入して下さい。

----- キリトリ -----

加盟団体控え

申込日 平成 25年 月 日

刀がナ		審査日時											
氏名		審査会場											
受審項目を○で 囲んでください	初	二	三	四	五	六	七	八	錬士	教士	再審		
											形	学科	
〒		住 所						電 話 番 号					
学校名				学年				下部団体名					

「審査会申込書」記入上の注意事項

※ 下記の注意事項に従い、記入もれや誤記がないよう、証書で確認し、かい書で丁寧に記入してください。誤記があると、合格者全員の証書の交付が大幅に遅れます。

※ 審査会申込書は、各自の所属する加盟団体の受付要領に従い、加盟団体へ提出してください。

※ 個人情報保護法への対応について

申込書に記載される個人情報(登録県名、称号、段位、漢字氏名、仮名氏名、年齢、生年月日、住所、電話番号、職業等)は(財)全日本剣道連盟及び(公財)埼玉県剣道連盟が実施する審査会運営のために利用します。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人化情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体(掲示用紙、ホームページ、剣窓等)に公表することがあります。更に、剣道の普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがあります。

- 1 審査会申込書 受審する項目(剣道、居合道、杖道)を○で囲む。
- 2 申込み日時 申込書を各加盟団体に提出する月日を記入する。
- 3 加盟団体No 下記の加盟団体の整理番号を記入する。

1	草加	6	杉戸	11	行田	16	川越	21	川口	27	大宮	32	深谷	37	警察
2	八潮	7	久喜	12	所沢	17	飯能	23	蕨	28	上尾	33	寄居	38	高校
3	越谷	8	幸手	13	東入間	18	西入間	24	戸田	29	鴻巣	34	本庄	39	居合道
4	吉川	9	加須	14	狭山	19	東松山	25	朝霞	30	北本	35	秩父	40	大学
5	春日部	10	羽生	15	入間	20	小川	26	浦和	31	熊谷	36	小鹿野	41	杖道
- 4 加盟団体名 上記の加盟団体名を記入する。
- 5 受審項目 受審しようとする、初段～八段、錬士、教士、再審のいずれかを○で囲む。再審は、形、学科のいずれかを○で囲み実技合格年月日を記入する。審査会場、審査日時項目は受審者すべてが記入する。審査日時1日目、2日目の項目は、八段受審者のみ希望の日を○で囲む。
- 6 全剣連番号 現段位の証書に記載された全剣連番号を記入する。誤記入、記入もれが多いので注意する。現段位を他県で登録申請した者は、特に注意する。初段受審者は記入しない。
- 7 現段級位受領年月日 現段級位の証書に記載された年月日を和暦で記入する。現段位受有後、下記規定の修業年数に満たない者は受審できない。

初段	一級受有後30日以上で、	五段	四段受有後4年以上修業した者
	受審日に満13歳以上の者	六段	五段受有後5年以上修業した者
二段	初段受有後1年以上修業した者	七段	六段受有後6年以上修業した者
三段	二段受有後2年以上修業した者	八段	七段受有後10年以上修業し、
四段	三段受有後3年以上修業した者		年齢46歳以上の者
- 8 現段位登録申請県名 初段受審者は記入しない。登録申請をした県名を記入する。東京都の場合は、区まで記入する。
- 9 錬士受領年月日 教士受審者のみ記入する。錬士の証書に記載された年月日を和暦で記入する。
- 10 錬士、教士受審資格 錬士 六段受有後1年以上経過した者。
教士 錬士受有者で、七段受有後2年以上経過した者。
埼玉連派遣講師の講習を年度内に2回以上受講していること。
剣道手帳の「講習会参加確認印ページ」上部に氏名を自筆し、A4版でコピーを取り、審査会申込書の裏面にのり付けする。
- 11 氏名、住所 振り仮名は片仮名で記入する。生年月日は和暦で記入する。年齢は受審日を起算とする。旧姓は現段位の証書に記載されている姓を変更する場合のみ記入する。
- 12 職業欄 該当する職業の番号を○で囲む。
1、2に該当する者は学校名、学年を記入する。
- 13 下部団体名 活動している○○道場、○○剣友会、○○スポーツ少年団、学校名、等を記入する。
- 14 加盟団体控え 審査会申込書に記入した項目と同じ事項を記入する。

剣道 居合道 杖道 高段者講習会申込書

申込日 平成 25 年 月 日

講習会に ○印を付けて下さい			加盟団体No	加盟団体名		
			38	高 校		
六段	七段	八段	講習会会場			受講日時
全剣連番号		現段位受領年月日		現段位登録申請県名		下部加盟団体名
		昭 平 年 月 日				
氏 名		旧 姓	性別	生 年 月 日		年 齢
フリガナ			男 女	大 昭 年 月 日		
氏名				平		
〒		住 所			電 話 番 号	

職業番号を○で囲んでください

1	中学生	2	高校生・大学生・専門学校等		3	警察官	4	自衛官
⑤	教 員	6	公務員	7	会社員	8	自営業	
9	農林水産業		10	主婦	11	その他	12	無 職

----- キリトリ -----

加盟団体控え

申込日 平成 年 月 日

講習会に ○印を付けて下さい					
六段	七段	八段	下部団体名		
フリガナ			受講日時		講習会会場
氏名					
〒		住 所			電 話 番 号

「高段者講習会申込書」記入上の注意事項

※ 下記の注意事項に従い、記入もれや誤記がないよう、証書で確認し、かい書で丁寧に記入してください。

※ 高段者講習会申込書は、各自の所属する加盟団体の受付要領に従い、加盟団体へ提出してください。

※ 個人情報保護法への対応について

申込書に記載される個人情報(登録県名、称号、段位、漢字氏名、仮名氏名、年齢、生年月日、住所、電話番号、職業等)は(財)全日本剣道連盟及び都道府県剣道連盟が実施する講習会運営のために利用します。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人化情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体(掲示用紙、ホームページ、剣窓等)に公表することがあります。更に、剣道の普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがあります。

- 1 講習会申込書 受審する項目(剣道、居合道、杖道)を○で囲む。
- 2 申込み日時 申込書を各加盟団体に提出する月日を記入する。
- 3 受講項目 受講しようとする、六段～八段のいずれかを○で囲む。
講習会場、講習日時の項目を記入する。
- 4 全剣連番号 現段位の証書に記載された全剣連番号を記入する。
- 5 現段位受領年月日 現段位の証書に記載された年月日を和暦で記入する。
- 6 受講資格 五段以上の受有者で、全剣連規定の受審資格修業年数に満たない者でも受講できる。
- 7 現段位登録申請県名 登録申請をした県名を記入する。東京都の場合は、区まで記入する。
- 8 加盟団体No 下記の加盟団体の整理番号を記入する。

1 草加	7 久喜	13 東入間	19 東松山	26 浦和	32 深谷	38 高校
2 八潮	8 幸手	14 狭山	20 小川	27 大宮	33 寄居	39 居合道
3 越谷	9 加須	15 入間	21 川口	28 上尾	34 本庄	40 大学
4 吉川	10 羽生	16 川越	23 蕨	29 鴻巣	35 秩父	41 杖道
5 春日部	11 行田	17 飯能	24 戸田	30 北本	36 小鹿野	
6 杉戸	12 所沢	18 西入間	25 朝霞	31 熊谷	37 警察	
- 9 加盟団体名 上記の加盟団体名を記入する。
- 10 氏名、住所 振り仮名は片仮名で記入する。生年月日は和暦で記入する。
年齢は受審日を起算とする。
旧姓は、現段位の証書に記載されている姓を変更する場合のみ記入する。
- 11 職業欄 該当する職業の番号を○で囲む。
- 12 下部団体名 活動している○○道場、○○剣友会、○○スポーツ少年団、等を記入する。
- 13 加盟団体控え 高段者講習会申込書に記入した項目と同じ事項を記入する。